

G7 開発大臣会合

開発インパクトのためのイノベーションを加速するためのウイスラー原則(仮訳)

(2018年6月2日、於:加・ウイスラー)

2030 アジェンダで記されているように、極度の貧困を根絶するための国際的な目標は、通常のアプローチでは成功しない。我々は、現在利用可能であるもの以上のサービス提供、製品及び政策、並びに官民協力を含む新しいパートナーシップ及び資金拠出形態について先駆的な進歩を必要としている。この点に関し、ジェンダー平等及び女性・思春期少女のエンパワーメントに対する障壁に取り組むことは、新しいパートナーシップ及び解決策に取り入れられた時には、変革的なインパクトを持ち得る。

イノベーションへの G7 のコミットメントは、世界の複雑な開発問題への持続可能で拡張的かつ実用的な解決策に到達するために枢要である。イノベーションは、最も貧しく脆弱な人々の生活を改善するために、取り扱いにくい開発課題及びエンパワーメントに対する障壁に効果的に対処する具体的な解決策、すなわち、新技術、ビジネスモデル(社会的企業、ボトム・オブ・ピラミッド・プログラム等)、政策慣行、アプローチ、パートナーシップ及び洞察である。このようなコミットメントには、イノベーターとしての女性及び思春期少女の可能性の解放が彼女らのコミュニティの開発を変革し得るという特別な認識が含まれる。

ウイスラーでは、G7 開発大臣らは、誰一人取り残さない包括的で持続可能な開発のための先駆的なアイデア及び行動を促すことを約束した。これには、脆弱国家の人々又は極端な気象現象や他の自然災害の危険にさらされている人々のための社会的及び経済的強靱性を強化できるイノベーションが含まれる。開発インパクトのための包摂的で現地主導のイノベーションを加速するため、G7 各国は、伝統的モデル、アプローチ及びパートナーシップに挑戦し成果を上げ得る新たなモデル及び解決策を促す先駆的な解決策を支持すべく、自らの組織及びパートナーと共に変化を促すよう共に取り組む。そのような取組は、不平等の削減、女性・思春期少女のエンパワーメント等により、最も貧しくそして最も脆弱な人々の生活・生計を改善する変化のペースを加速させることとなる。援助効果原則並びにグッドプラクティス及び教訓を活かし、G7 開発大臣らは、大規模な開発インパクトを与えるために分野横断的な緊密な連携を促す。

人道的行動及び開発援助を所掌する G7 大臣らは、開発インパクトのためのイノベーションを先導し、加速するために、下記の原則を支持する。

- 長期的な開発インパクトを与えるべく、最も貧しく脆弱な人々への支援に焦点を当て、包摂的なイノベーションを推進する。 ジェンダー分析は、この点で重要である。障害者を含む女性及び思春期少女は、革新的解決策の設計、試験、学習及び採用に関して決定的な役割を果たすべきであり、イノベーションの受け手として、道具及び資金を支援されることによりイノベーターとして関与すべきである。

- 現地主導の解決策に投資し、並びに、国際的なネットワークからの才能及び資源の共有等により、開発途上国の現地のイノベーター及びそのパートナーを支援し、促す。
- 最初の実験により、コンセプトが証明され、インパクト及び財政持続可能性に関する一層強力な証拠が得られれば、実験及び正確なデータ利用を行い、害を与えないことを確保し、及びより大胆に投資することにより、賢明にリスクをとる。
- 最も効果的なイノベーション及び残っているギャップの特定に役立つ継続中の基礎の下で、明確な基準を早期に策定し、基準に対する進捗を測ることにより、インパクト及び費用対効果を高めるために意思決定を促すべく、分野別データを含む証拠を利用する。
- 失敗及び非効率を認識することにより、有望なイノベーションのインパクトを拡大する前に、それらを迅速に学習し、反復し、確保する機会をとらえる。
- 公的、民間及び市民社会部門横断での連携と共創を促進し、あらゆるところから知的、資金的及び社会的資源を活用するために科学、技術、社会及びビジネスのイノベーションの適用を調整し、並びにデータ、基準、結果及び学習を広く共有する。
- 意義深いインパクト及び費用対効果を獲得・維持する高い潜在力を示し、並びに開発途上国の何百万人も困っている人々に手を差し伸べる潜在力を開花する技術を含め、大規模に実施可能な解決策を特定する。
- 現在及び将来の事業における解決策の利用に対する内外の障壁を取り除くことにより、証明されたイノベーションを組織のより大きな計画に統合し、並びに、証明されたイノベーションの発展及びインパクトの加速を支援する。

(了)